

輝^きなんせ鳥取

KINANSE TOTTORI

地元で活躍
自然体
イラストレーター



イラストレーター 伊吹春香さん



まどぐちカフェのスタッフの皆さん

第三の居場所づくり
「まどぐちカフェ」

— 目 次 —

- 輝^{ひと}く人にインタビュー・・・・・・・・・・ 2P～3P
- 「輝なんせ鳥取」NEWS・・・・・・・・・・ 4P～5P
- 第三の居場所づくり「まどぐちカフェ」・・・・・・・・ 5P
- 今後の輝なんせ鳥取講座紹介・・・・・・・・・・ 6P

鳥取の町の中をレトロで素敵なイラストのラッピングバスが走っています。また、鳥取の梨に鳥取のいちご、地元のマップやカレンダー、新作は、はとむぎ茶のラベルです。

様々な場面で目にする癒しのイラスト。地元で制作、でも時々は外の風を感じながら... そんな自然体のイラストレーター伊吹春香さんにお話を伺いました。

イラストレーター

いぶき はるか
伊吹 春香さん インタビュー



◎ どのようなきっかけでイラストレーターになろうと思われましたか？

子どもの頃から、絵を描くことが好きで、なんとなく絵を描く仕事がしたいと思うようになっていました。最初は漫画にチャレンジしていましたが、雑誌へ投稿してもうまくいかず、イラスト投稿は採用される事が多かったので、イラストの方が自分には向いているのかな？と、考えるようになっていきました。

ただ、夢に向かって具体的に動くまでには至らず、短大卒業後は鳥取へ帰って就職をしました。ですが、自分が思い描いていた生活とは違うような気がして転職を繰り返していました。20歳の頃に、ハンドメイドの作品販売イベントで絵ハガキを作って参加した際、第三者に作品を見てもらうことを意識するようになりました。ただ、イラストレーターになる夢に向かって積極的に行動するというよりは、たまに作品を制作し、夢をあきらめきれないもやもやした感情をやり過ごしていたように思います。

20代半ばでイラストレーターの登竜門である雑誌に絵を投稿すると、審査員の目に留まり、準入选することができました。ですが、それが仕事につながることはなく、変わらぬ生活を続けていました。数年後、当時、同じように準入选していた人が、イラストレーターとして活躍していることを知り、初めて、リアルなショックや焦りという感情が芽生えました。このまま夢に挑戦しないでいいのかと思い、30代目前に勢いで会社を辞めました(笑)。

その後すぐに、東京で開催されたクリエイターエキスポに参加しました。

その挑戦が功を奏してか、エキスポに来場していた傘会社の社長の目に留まり、傘にイラストを描くという仕事が決まりました。その後、カレンダーの絵や、車の広告、ショッピングモールの広告等、少しずつイラストレーターとしての仕事の依頼が増えてきました。ですので、明確にこの日がイラストレーターデビューということではなく、少しずつイラストレーターになっていったという感覚です。



アート箸



はとむぎ茶のラベル

◎ そのスタイルを確立しようと思ったきっかけは？

漫画家志望だったということも関係しているかもしれませんが、もともと女の子を描くことが好きということと、竹久夢二が大好きで、大正ロマンのようなレトロな世界観へのあこがれが無意識に今の絵のスタイルにつながっているように思います。

◎ プロになる前となった後では、創作の仕方は変わりましたか？

プロになると、依頼された仕事の背負うものの大きさがプレッシャーではあります。ですが、絵を描くことがとにかく好きなので、創作をする喜びの方が大きいと感じています。おそらく、プロになっていなくても、絵は描き続けていたと思います。

◎ 作品を作っていて、楽しい瞬間、つらい瞬間はどんな時ですか？

自分の頭の中で思っていたことが、紙の上に出たときに嬉しいです。絵を描いている時間は癒しのような、集中している「無」のような時間なので、つらいということはあまり感じません。毎日料理をするような、生活の一部の感覚です。

◎ 制作依頼で苦労しているところ、工夫しているところは？

独学のコンプレックスはあります。ですが、オリジナリティを保つことは忘れないようにしています。自分の世界を確立し継続すること。創造的な自分を保つこと。言われたことをやっているだけではダメで、描きたいものを描くことを忘れないようにしています。依頼の全てを受けるわけではなく、自分の良心と一致したものを受けるようにしています。



インタビューの様子

◎ イラストレーター、クリエイティブを仕事にしたいと目指している方へ、メッセージはありますか？

東京へ行かなくても、鳥取にいてもコンプレックスを感じる必要はないと思います。自分の今いる場所を大切に思うことが創作の芯には欠かせないと感じています。そして、外野の言うことは真に受けすぎず、でも、時々鳥取の外の空気を感じて創作をしていくといいのではないかと思います。今の時代は作品がネットで広がっていくこともあるので、SNSを活用する方も多いと思います。それももちろん大切ですが、リアルな作品発表やリアルな人との出会いも大切にしてほしいと思います。

◎ 今後の目標を教えてください

絵本製作やグッズ製作、テキスタイル等、やりたいことはたくさんあります。依頼を待つだけでなく、自分発信の作品を創り、自分の基盤をしっかり持ちたいと思います。雑誌の挿絵なども手がけることができれば嬉しいです。

人と人とはつながっているからこそ、人の心に訴えかける作品ができると思っているので、そのことを忘れないで創作を続けていきたいです。



グッズの数々

以前から、素敵なイラストを描かれる方だ
と思い、ひそかにグッズを買ったりしていま
したが、実際の伊吹春香さんは自然体の、ま
さにご本人が描かれる女性のような方で、い
つまでもお話しをしたいと感じました。
これからも作品を拝見することを楽しみにし
ています。(T. S)

* 輝なんせ鳥取 NEWS * 編集委員レポート *



講師：来田 裕子さん
(整理収納アドバイザー・手帳研究家)

この講座では、アナログの手帳とノートを中心に、どのように使えばワーク・ライフ・バランスや生活を整えることができるのかをお話しされました。

まず、はじめに紹介されたのは、やりたいこと100ノート。これは、自分のやりたいことを見える化し、常に見返すようにすることで、やりたいことが叶っていくノートになっています。やり方としては、まずノートを1冊用意し、1項目につき1ページ作ります。そこにやりたいことと、それに関連する資料、そして叶ったらそのことも書いていきます。タイトル通り100項目なくても、自分で決めた期間に何項目できそうか、考えてみるのもこのノートの醍醐味かもしれません。

毎日がうまく回りだす！ 手帳&ノート活用 ～ワーク・ライフ・バランス講座～

令和6年4月26日(金)
男女共同参画センター

他にも、「考えるノート」や、「記録ノート」の提案もありました。まず、ノートにどんな目的のノートなのか名前を付けます。1日に1項目書くことを目標にして最初のページに目次を立て、書くページには必ず日付を入れる。それから自由に書いていくという順序で説明されました。こちらのノートは様々な用途別に作ってみることもできます。その一例として、「防災ノート」「銀行口座ノート」「パスワードノート」...、中には「もしもの時のノート」として書く内容が決まっているものが100均に売ってある話もされました。

様々なアイデアを提案していただき、最後に「夢や目標に向かっていく過程が毎日を充実させる。そのツールが手帳・ノートです」とまとめられ、自分も改めて手帳&ノートを活用していきたいと思いました。(T・A)



講師：藤吉 航介さん
(NPO法人 bankup)

コロナ禍から注目度が大きくなった、リモートワークという働き方。大都市ほどではありませんが、鳥取県でも出社せず自宅で働く人はわずかですが増えています。そして、今後もリモートワークのニーズは、注目され続ける可能性があります。

そこで今回は、5年前に鳥取県へ移住し、実際にリモートワークで働き、そのノウハウを学べるプロジェクト「とりも」を立ち上げられた、藤吉さんのお話しをお聞きしました。

リモートワークのメリットは、通勤時間がないことや、自宅で仕事ができるため、子育てや介護中の方でも働きやすい事などが挙げられます。実際に、マスコミ等でも、リモートワークで地方移住して自

未経験から始めるリモートワーク ～自分らしい働き方を実現しよう～

令和6年6月15日(土)
男女共同参画センター

然に囲まれた暮らしをしている人たちを特集したりしていて、とても魅力的に映ります。

けれど、何事にもメリットとデメリットはあり、家に居るので家族に用事を頼まれがちで仕事はかどらない、分からないことがあっても質問する相手がいないため孤独感がある、仕事の単価が安い等の不安材料もあります。

これらのメリットとデメリットを理解した上で、自分に合った働き方を考えることが大切になってきます。リモートワーク最高!という一面だけではなく、自分はどのような働き方がしたいのか、どのようなスキルが有り、またはまだ無いのか等、まずは自分を知ることが大切なのだという事が分かりました。自分を見つめ直し、最初の一步をどう踏み出すのか、これからリモートワークに挑戦してみようと思っっているみなさんの参考となる、有意義な講座でした。(T・S)

* 輝なんせ鳥取 NEWS *

男女共同参画基礎講座①

わたしのトリセツをつくる

人と違ってあたりまえ！自分らしく生きていくために...
自分自身を掘り下げてみよう！

令和6年7月13日(土)
男女共同参画センター



講師：福壽みどりさん

(公財)鳥取市人権情報センター主任研究員

天候と同じで何かあれば変わっていく自分自身。「自分を見つめる」「自分と対話する」「同じ・ちがう」「機嫌よく過ごすために」とわたしのトリセツについてお話を聴きました。

最初に私ってこんな人、こんなことに喜んで、こんなことが悔しくて、あれが好きで、あれは嫌いで、困ったときは、こうすると少し上向きになれることは？と自分を見つめました。普段何気なく過ごしているけれど自分ってこんな人なのかと気付いたり、気分を変えるにはどうしたらよいのかと知らない間に工夫をしている自分自身にも向き合えることが出来たようです。

次に自分との対話で「私」ってどんな人？「私」を紐解く20の質問—私の成分表—に書き込んでいきますが、途中でどうだろう？とペンが止まること

もあり、なかなか時間内に終わることが出来なくて再度時間を取っていただき、その後会場の皆さんと共有しました。

「私の成分表」の一部です。お試しにどうぞ。

3「やると楽しいこと」⇔「できればやりたくないこと」

10「いくらやっても苦にならないこと」⇔「すぐやめたくなること」

18「周りからどんな人っていわれる」

20の成分表に書き上げていった自分は本当の自分なのか、こう見られたい、こう見られる自分との差っていったい何だろう？と改めて自分との対話でした。自分を知ること自分自身も周りの人も大切にできる。自分が気分よく、機嫌よく生きていくための自分だけのトリセツ。天気と一緒にコロコロと変わっていく私も私自身。自分の機嫌をとりながら大切にしていくと生き方が楽になるようです。

あなたもぜひ、わたしのトリセツを作ってみませんか。(O.M)

令和6年度鳥取市女性応援つながりサポート事業

まどぐちカフェをやっています！

女性が社会や人とのつながりをもって悩みや不安を解消できるよう、居場所や機会をつくることを目的とした、「鳥取市女性応援つながりサポート事業」。令和6年度は、民間団体「きりんのまち・愛プロジェクト」による困りごとを抱える女性支援のための相談窓口「まどぐちカフェ」を開設します。

きりんのまち・愛プロジェクト

家族でもなく、学校や職場でもない”第三の居場所”づくりとして、きりんこども食堂、学生服リユースぱすぱす、You are the chefなど、様々な地域課題の解消に向けて人と社会をつなぐ活動を行っている団体。

まどぐちカフェとは？

日々のちょっとした悩みや不安、どこに相談してよいかわからないことなどをお茶を飲みながらお話を聞かせていただく小さな「まどぐち」です。

月2回鳥取市男女共同参画センター（丸由百貨店5階）にて、無料で行っています。些細なことでも大丈夫です。対面だけではなく、電話やLINEでも随時相談を受け付けています。

詳しくは、こちら
まどぐちカフェウェブサイト



* 今後の輝なんせ鳥取講座 *

日 程	講座名	場 所	講師	定員
11月8日(金) 10:00 ~ 11:30	ライフアップ講座 ～コーチングの手法を 身につけて、対人関係 UP!～	男女共同参画センター 研修室	growth story 代表 笠木 理恵 さん	30 名
11月16日(土) 10:00 ~ 11:30	DV 予防講座 パートナーとのよりよい関係 ～尊重し合う関係を築くために～	男女共同参画センター 研修室	鳥取県 DV 予防啓発支援員 佐藤 淳子 さん	30 名
12月14日(土) 10:00 ~ 11:30	男女共同参画基礎講座③ ～性差は、いかにして つくられてきたか～	男女共同参画センター 研修室	人権情報センター主任研究員 田川 朋博 さん	30 名
1月18日(土) 10:00 ~ 11:30	ライフアップ講座 あなたの暮らしに直結する法律の話 ～民法改正で何が変わる?～	男女共同参画センター 研修室	法テラス鳥取事務局長 高橋 秀明 さん	30 名

どなたもお気軽にお申し込みください。

* 新規購入図書 *

- ★『おカネの教室僕らがおかしいクラブで学んだ秘密』（高井浩章 インプレス）
- ★『ジェンダーレス時代の男の子の育て方』（佐藤律子 秀和システム）
- ★『おつかれ、今日の私。』（ジェーン・スー マガジンハウス）
- ★『自分の時間を確保する』（ペソ ポプラ社）
- ★『だいじだいじどーこだ?』（えんみさきこ／さく・かわはらみずまる／え 大泉書店）
- ★『どうして男はそうなんだろうか会議』（渋谷知美／編・清田隆之／編・西井貝他述 筑摩書房）
- ★『きみのお金はだれのためボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」』（田内学 東洋経済新報社）
- ★『自分の料理を作る自炊からはじまる『ケア』の話』（山口祐加／著・星野概念／著 晶文社）
- ★『人生の純度が上がる手帳術』（本橋へいすけ・井上ゆかり ディスカバー・トゥエンティワン）
- ★『東洋医学式女性のカラダとココロの『不調』を治す 50 の養生訓』（若林理砂 原書社）
- ★『選挙、誰に入れる? ちょっとでも良い未来を『選ぶ』ために知っておきたいこと』（宇野重規 Gakken）
- ★『おしごとそうだんセンター』（ヨシタケシンスケ 集英社）
- ★『「アンコンシャス・バイアス」マネジメント最高のリーダーは自分を信じない』（守屋智敬 かんき出版）



編集後記

「咲かせよう 砂丘に 寿と笑みの花」をテーマにねんりんピックはばたけ鳥取 2024 が開催! 60 歳以上の高齢者を中心とした健康と福祉の祭典。29 種目のスポーツや文化の交流大会では熱い熱戦が繰り広げられ、各地の様々なイベントは賑やかに楽しむ笑顔がいっぱい!! PR キャラクターのあおやかみじろうも元気にエールを送っていました。

人生 100 年時代と言われ、これからのシニアライフもドキドキワクワクでいたいものです!! (O.M)

鳥取市男女共同参画センター

「^き輝なんせ鳥取」



〒680-0822
鳥取県鳥取市今町二丁目 151 (丸由百貨店 5 階)
TEL / FAX (0857) 24-2704
メール: danjyo-center@city.tottori.lg.jp
鳥取市ホームページ: <http://www.city.tottori.lg.jp/>



HP

Facebook

